

株主のみなさまへ

第100期

2023年4月1日～2024年3月31日



Contents

社長メッセージ	01
特集：中期経営計画の進捗	03
分野別事業紹介	05
財務ハイライト(連結)	06
会社概要／株式の概況	裏表紙



代表取締役社長

樋口 章憲

事業ポートフォリオの変革を加速させてまいります。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配をたまわり、厚くお礼申しあげます。2024年3月31日をもちまして、当社第100期の事業年度を終了いたしましたので、ここにその概況をご報告申しあげます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

2024年6月

社 是

企業を通じて
よりよい社会を
建設しよう

当期における業績について

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことで、経済活動は正常化に向かい、個人消費や輸出に持ち直しの動きが見られましたが、世界的な設備投資意欲の減退など依然として厳しい状況となりました。世界経済は、米国景気が底堅い一方、欧州は景気減速傾向にあり、また中国は輸出の低迷や不動産市況悪化の影響等により景気回復が遅れ

ております。加えて、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東地域をめぐる情勢の悪化による資源エネルギー価格の高止まり・物価上昇など、先行き不透明な状況にあります。

化学業界におきましては、為替相場が、米国のインフレ率の鈍化や日銀による金融政策正常化への期待の高まりなどから円が反発する場面もありましたが、年間を通して米欧の長期的な金融引き締め観測から円安方向に推移し

ておりました。原油価格は世界的な景気の鈍化はあるものの中東情勢の緊迫化を背景に上昇基調を示しており、また中国の内需不振に加え中国製品の供給過剰により日本及びアジアマーケットにおける価格競争が激化するなど、非常に厳しい事業環境にあります。

このような環境下における当期の売上高は、販売量の減少などにより1,595億1千万円(前期比8.8%減)となりました。利益面では、販売量の減少や新基幹システム稼働に伴う減価償却費の増加などにより営業利益は48億8千6百万円(前期比39.8%減)、経常利益は81億8千6百万円(前

期比17.5%減)、親会社株主に帰属する当期純損失は、子会社における減損損失の計上や高吸水性樹脂事業及び中国における生産事業からの撤退に係る損失(事業構造改革費用)の計上などにより85億1百万円(前期は56億8千4百万円の利益)となりました。

当社は、連結配当性向30%以上をめどに、中長期的な配当水準の向上を目指しております。期末配当金につきましては、昨年12月に実施いたしました中間配当金と同じく、1株当たり85円とさせていただきます。これにより、当期の年間配当金は1株当たり170円となります。

高吸水性樹脂事業及び中国生産事業からの撤退について

3月25日に発表しましたとおり、当社は2023年度より始動した『新中期経営計画2025』における構造改革の一環として、高吸水性樹脂(以下、SAP)事業及び中国での界面活性剤等の生産事業から撤退することを決定いたしました(下表ご参照)。

■ 特別損失の計上及び連結業績への影響について

本事業撤退に伴い、事業構造改革費用(固定資産除却損、契約解除清算金等)として2023年度から複数年度にわたり総額約200億円の特別損失を計上(2023年度には約120億円)する見込みです。

また、本事業撤退を含む構造改革により、2024年度は前期比約10億円の営業利益改善を見込んでおります。

当社は、1978年に世界で初めてSAPの商業生産を開始して以降、世界的な紙おむつの普及に伴いSAP事業を拡大し、高品質のSAPを安定的に供給することを通じて、アジア

における紙おむつ市場の拡大と生活の質の向上(QOLの向上)へ貢献をしております。

しかしながら、SAPメーカーの新規参入が相次いだことに加え、近年では新規参入メーカーの技術レベルが向上し、品質による差別化が困難な汎用製品となったことで、当社のSAP事業の収益性は急速に悪化しました。このようなSAP事業の厳しい競争環境を鑑み、事業再構築や事業売却などのあらゆる可能性を検討した結果、今回の決断に至りました。

左記のとおり特別損失を計上いたしましたが、本構造改革の断行により収益力及びキャッシュフローは改善し、成長事業へ経営資源を適切に配分することで、中長期的な成長は確かなものになると考えております。

引き続き、基盤事業の収益力向上、基盤事業からの新たな展開、新たな成長軌道としての新規事業開発に注力し、事業ポートフォリオの変革を加速させてまいります。

表 本事業撤退に伴い解散または異動(持分譲渡)を検討する子会社

事業名/子会社名	時期等
SAP事業	
SDP グローバル株式会社	2024年度中に生産停止し、その後解散
三大雅精細化学品(南通)有限公司	2024年度中の異動(持分譲渡)を検討 ⇒中国企業である南通江天化学股份有限公司に全持分の譲渡を検討
SDP グローバル(マレーシア)SDN.BHD.	2024年3月末に生産停止し、その後解散
中国生産事業	
三洋化成精細化学品(南通)有限公司	2024年3月末に生産停止し、その後解散

『新中期経営計画2025』や持続的な成長に向けての取り組み等の詳しい情報は、当社ホームページのサステナビリティサイトをご覧ください。(https://www.sanyo-chemical.co.jp/sustainability/)



中期経営計画の進捗

2030年のありたい姿の実現に向けた持続的な成長の道筋を明示するため、『新中期経営計画2025』を策定し、グループ丸でサプライチェーン全体の価値向上に取り組んでいます。経営方針のありたい姿を堅持し、着実に成長戦略を遂行します。

新中期 経営計画 2025

2030年のありたい姿の実現に向けて、 成長戦略を遂行

経営環境の変化により足元の業績は厳しい状況にあり、『新中期経営計画2025』初年度である2023年度業績は期初計画未達となりました。

このような環境下においても、当社は「ありたい姿」への到達に向けた取り組みを着実に実行しており、2023年度は「基盤事業の見直し」としてのSAP事業等の撤退を含む一連の構造改革を推し進めることができました。これにより、収益力を向上させる環境整備が一歩進んだと考えております。

残りの期間におきましては、下記の「事業戦略」の実行

を徹底することにより、利益の創出と積み上げを図り、2025年度営業利益150億円に近づけるべく努力してまいります。また、「ありたい姿に向けた変革」をますます加速させ、「新たな成長軌道」に乗るための新規開発事業を推し進めるなど、将来に向けた取り組みも強化してまいります。

当社グループは収益力の向上を実現し、将来にわたって持続的な成長を遂げ、それを通じて「ありたい姿」へ到達することと並行して、ステークホルダーのみなさまへの還元を充実させてまいります。

▶『新中期経営計画2025』の基本方針

2030年のありたい姿

全従業員が誇りをもち、働きがいを感じるグローバルでユニークな高収益企業に成長する

ありたい姿に向けた変革

●基盤事業の見直し ●基盤事業からの展開 ●新たな成長軌道

▶事業戦略（2023～2025年度）

基盤事業からの展開

- 高付加価値製品群（注力5製品群）へのリソース投入
 - 特殊繊維用薬剤
 - 特殊電子部品用薬剤
 - 潤滑油添加剤
 - 永久帯電防止剤
 - 医療・医薬関連

基盤事業の見直し

- 基盤製品群の収益改善
- 「ものづくり大改革」によるサプライチェーン全体での効率化と収益改善
- SAP事業とウレタン事業の構造改革

グローバル展開

- 海外での拡販推進



▶将来に向けて

新たな成長軌道

- 新規開発事業
- カーボンニュートラル関連
- QOL（生活の質）関連

社会課題の解決

- CO₂排出量削減
- 人権問題への対応

成長を支える仕組み

- 人材育成と職場環境の向上
- 安全をすべてに優先する経営
- リスク管理と透明性のある経営

基盤事業 の見直し

サプライチェーン全体での 価値向上へ

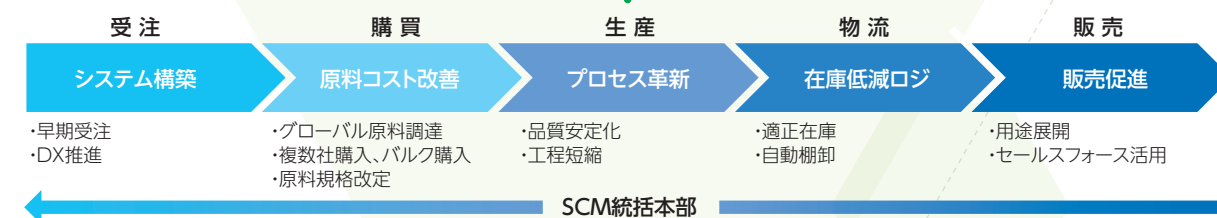
サプライチェーン全体での効率化と収益改善を目指した「ものづくり大改革」により、『新中期経営計画2025』の3年間で30億円の増分営業利益を見込んでいます。

SCM(サプライチェーンマネジメント) 統括本部の新設

受注から需給計画・購買・物流などに関わる全てのサプライチェーンマネジメント機能を集約し、業務プロセスの変革、スピーディーな顧客対応で、サプライチェーン全体の効率化と収益改善に取り組んでいます。

「ものづくり大改革」による効率化と収益改善

工場では、生産プロセスの見直しや自動化など作業環境整備を行い、良品率向上を図ることで、生産リードタイム短縮と在庫圧縮を実現し、キャッシュの創出につなげます。他にも購買から物流・販売まで、旧来の慣行を見直す方針で、この取り組みが将来の当社の高収益体質の基盤になると確信しています。



新たな 成長軌道

医師主導治験で 「シルクエラスチン」の安全性を確認

当社は、開発中の機能性タンパク質「シルクエラスチン」が生体組織を修復・再生する環境を作り出すことで、患者様自身の自然治癒力を高める新しい治療法の確立に取り組んでいます。

半月板の再生材として

変形性膝関節症などの原因となる半月板の損傷に対する再生治療向けに、広島大学と共同開発しています。

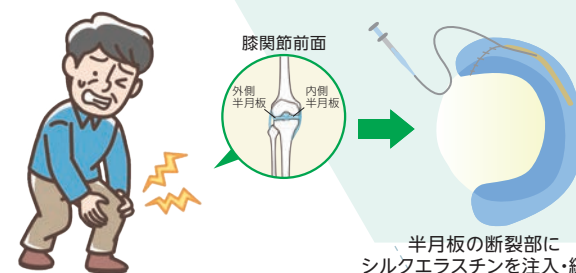
半月板は、膝関節でクッションの役割をしており、一度損傷すると修復されにくく、従来治療では切除する治療が主流ですが、シルクエラスチンを用いる治療法では、半月板を修復・再生することが期待できます。

半月板の修復・再生用医療機器への承認を目指して

2022年6月より広島大学病院でシルクエラスチンの安全性確認を目的とする医師主導治験を実施し、2023年12月にその安全性が確認されました。医師主導治験の結果を受け、2025年春からは有効性の評価を主目的とした企業治験へ移行します。

本件のリリース後には、広島大学病院と当社に半月板損傷で苦しんでおられる多くの患者様から期待の声が寄せられており、今後は、国内での上市に加え、米国市場でも上市するべく取り組みを進めています。

将来的には、半月板のみでなく、やけどや床ずれといった皮膚の深い傷を治す創傷治療材用途と併せて、2030年度に営業利益60億円の創出を目指してまいります。

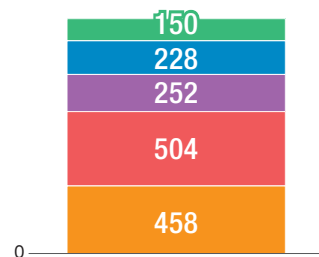


最新のプレスリリース情報等は、当社ホームページの「TOPICS」ページをご覧ください。
(<https://www.sanyo-chemical.co.jp/topics>)



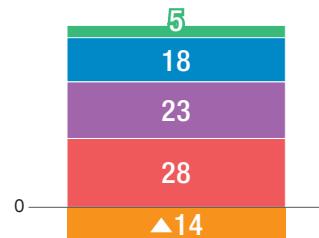
売上高構成

売上高 **1,595** 億円



営業利益構成

営業利益 **48** 億円



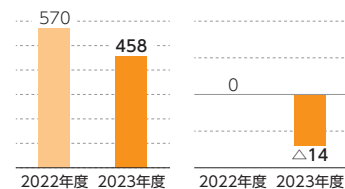
※各報告セグメントには、新規事業に係る研究開発費△12億円を含んでおりません。

- 生活・健康産業 関連分野
- 石油・輸送機産業 関連分野
- プラスチック・繊維産業 関連分野
- 情報・電気電子産業 関連分野
- 環境・住設産業 関連分野 他



生活・健康産業 関連分野

売上高 **458** 億円 / 営業損失 **14** 億円



【生活】液体洗濯洗剤用界面活性剤及びポリエチレングリコールが国内外ともに市況が低迷し需要が減少したため、売上高は減少。

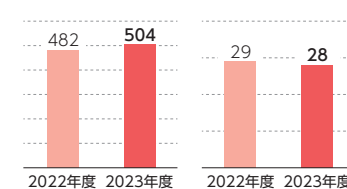
【健康】高吸水性樹脂が日本及びアジアで販売数量が減少し、売上高は大幅に減少。

- 主な製品
- 洗剤・洗浄剤用界面活性剤
 - ヘアケア製品用界面活性剤
 - 高吸水性樹脂
 - 医薬品原料



石油・輸送機産業 関連分野

売上高 **504** 億円 / 営業利益 **28** 億円



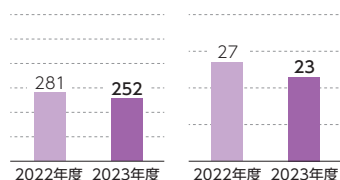
【石油・輸送機】自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料が海外安価品の流入により低調であったが、潤滑油添加剤、自動車内装表皮材用ウレタンビーズが好調に推移したため、売上高は順調に推移。

- 主な製品
- 自動車内装表皮材用ウレタンビーズ
 - ポリウレタンフォーム用原料
 - 潤滑油添加剤



プラスチック・繊維産業 関連分野

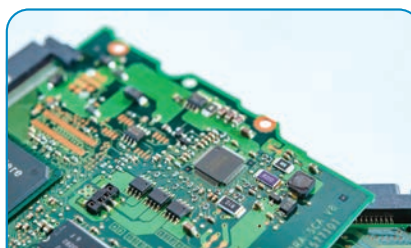
売上高 **252** 億円 / 営業利益 **23** 億円



【プラスチック】永久帯電防止剤が電子部品需要低迷のため低調となり、塗料コーティング用薬剤・添加剤も需要が減少し売上高は減少。

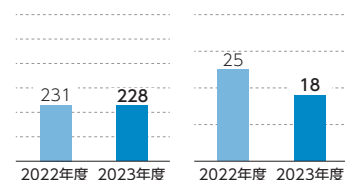
【繊維】風力発電用風車向けの炭素繊維用薬剤が低調に推移し、またタイヤコード糸等の製造時に使用される油剤の需要回復が遅れており、売上高は低調に推移。

- 主な製品
- 永久帯電防止剤
 - 顔料分散剤
 - 樹脂改質剤
 - 塗料用樹脂
 - 炭素繊維用薬剤



情報・電気電子産業 関連分野

売上高 **228** 億円 / 営業利益 **18** 億円



【情報】トナー関連材料の需要が減少したものの、原料価格高騰等による価格改定により売上高は横ばい。

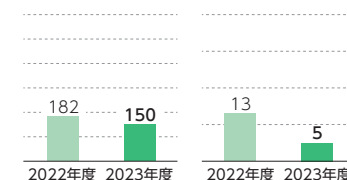
【電気電子】半導体市場の回復により関連材料の売り上げが増加したが、アルミ電解コンデンサ用電解液が需要低迷により、売上高は減少。

- 主な製品
- 重合トナー中間体
 - トナーバインダー
 - アルミ電解コンデンサ用電解液
 - 電子部品製造工程用薬剤



環境・住設産業 関連分野 他

売上高 **150** 億円 / 営業利益 **5** 億円

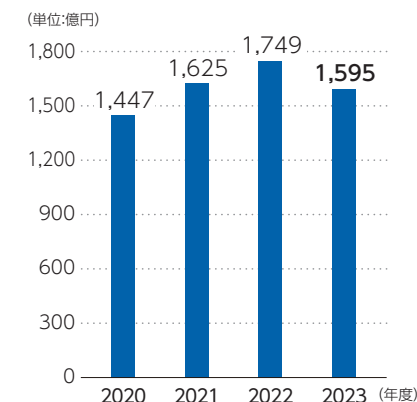


【環境】高分子凝集剤用のカチオンモノマーの需要が低迷したため、売上高は低調に推移。

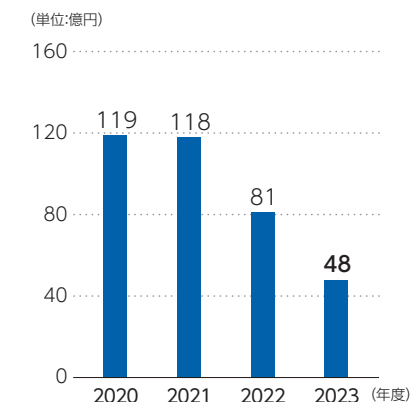
【住設】家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料及び建築シーラント用原料の販売が減少。

- 主な製品
- 家具・断熱材用ポリウレタン原料
 - 建築シーラント用原料

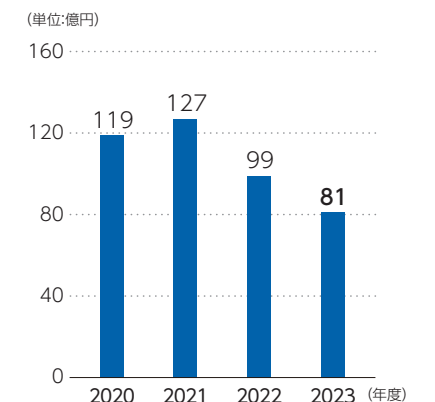
売上高



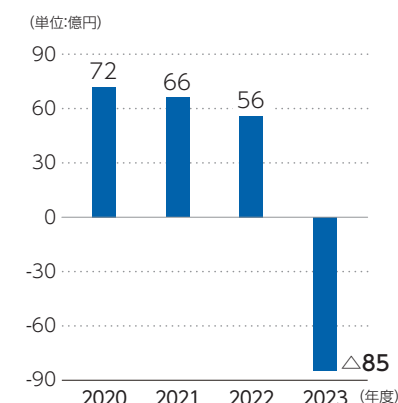
営業利益



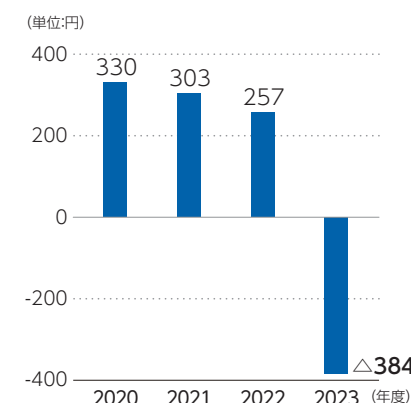
経常利益



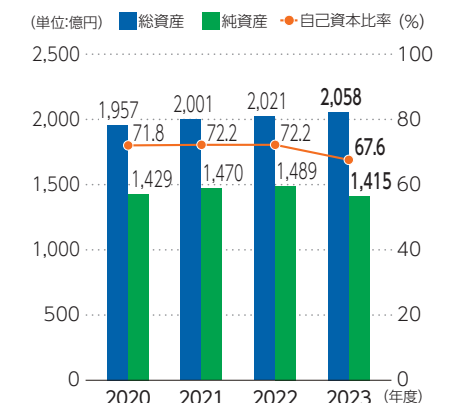
親会社株主に帰属する当期純利益



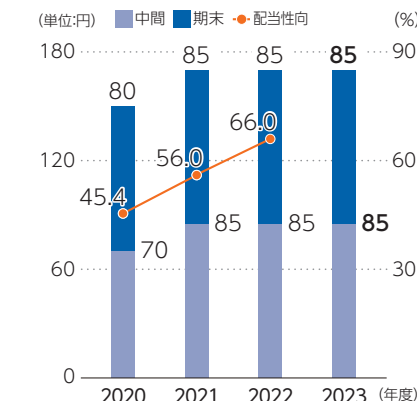
1株当たり当期純利益



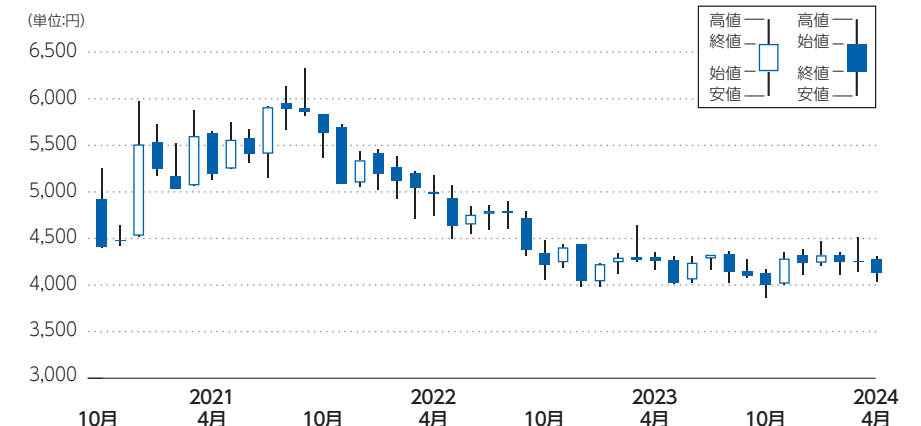
総資産・純資産・自己資本比率



配当金・配当性向



株価



三洋化成株主・投資家
情報のご案内

詳しい財務データ等は、当社ホームページの「IR」ページをご覧ください。
(https://www.sanyo-chemical.co.jp/ir_info)

三洋化成 IR 検索



概況

(2024年3月31日現在)

創立 1949年11月1日
資本金 13,051,179,427円
従業員数 1,297名(連結2,042名)
関係会社 国内8社、海外14社

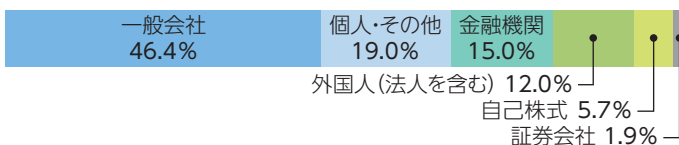
株式総数及び株主数

(2024年3月31日現在)

発行可能株式総数 51,591,200株
発行済株式総数 23,534,752株
株主数 11,677名

株主構成(持株比率)

(2024年3月31日現在)



大株主

(2024年3月31日現在)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
豊田通商株式会社	4,286	19.3
東レ株式会社	3,826	17.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,810	8.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,225	5.5
ENEOSホールディングス株式会社	1,061	4.8
株式会社日本触媒	755	3.4
三洋化成従業員持株会	571	2.6
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	203	0.9
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	187	0.8
JPモルガン証券株式会社	168	0.8

(注) 1. 上記のほかに、自己株式1,344千株があります。
2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。

役員

(2024年6月21日現在)

取締役会議長 社外取締役	白井 文	常務執行役員	藤井 雄一
代表取締役社長 兼執行役員社長	樋口 章憲	常務執行役員	楡 康治
取締役兼専務執行役員	原田 正大	執行役員	土屋 稔
取締役兼常務執行役員	須崎 裕之	執行役員	宮脇 基寿
取締役兼常務執行役員	奥 喜之	執行役員	中野 達也
取締役兼執行役員	西村 健一	執行役員	山本 祐介
社外取締役	小畑 英明	執行役員	坪内 隆
社外取締役	佐野 由美	執行役員	今泉 雄高
社外監査役(常勤)	黒目 泰一	執行役員	大高 剛史
監査役(常勤)	竹内 昌		
社外監査役	加留部 淳		
社外監査役	中野 雄介		

(注) 当社は、白井 文氏、小畑 英明氏、佐野 由美氏、黒目 泰一氏、中野 雄介氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、届け出ております。

株主メモ

(2024年3月31日現在)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当基準日 3月31日
中間配当基準日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告掲載 当社ホームページ
<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場(コード番号 4471)

ESGトピックTOPIC

働きがいを感じる職場環境づくりを目指して

当社は、全ての従業員が自分らしさを大切にしながら、安心して働くことができる会社を目指し、働き方改革やDEI(Diversity=多様性、Equity=公平性、Inclusion=受容)推進の取り組みを進めています。

新人事制度の導入

当社は2024年4月より、組織パフォーマンスを最大化し、従業員一人ひとりの働きがいや誇りにつなげることを目的に「組織評価」制度を導入しました。各組織がありたい姿に向けて目標を立て、その「組織目標」に組織の全員が参画している状態をつくり、達成を目指します。人事評価は、成果と行動の2軸で行い、社員のエンゲージメントを高めます。

従来までの人事評価



組織行動評価

組織目標の達成に関して周囲へどう働きかけ、活性化させているかを上司、部下が「多面評価」する。



三洋化成工業株式会社

本社：〒605-0995 京都市東山区一橋野本町11-1
TEL：075-541-4312(コーポレート・ガバナンス部ダイヤルイン)

